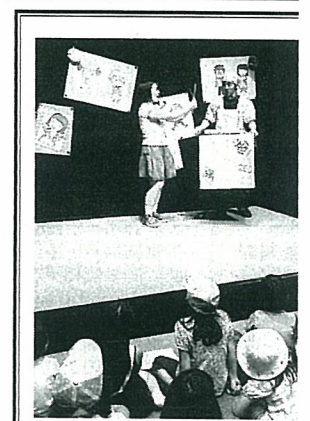


加増、通運費も上がった。構成比が大きい電力を除くと14.2%増で3年ぶりの増加となる。北陸の増加率35.0%は全国トップで、電力を除いた数値14.2%についても全国で最大の増加率となっている。電力は回復傾向にあるが、設備投資が抑制された昨年度との反動もあるとの認識を示している。

製造業では、非鉄金属(15.8%減)や紙・パルプ(35.5%減)などが減ったものの、デ

住信金融支援機材増、自引の金利で0.0%。支店は3日、フラット3 8%引き下げた。5の融資金利(8月)を最低金利と最高金利との差0.35%は7月と変わっていない。北陸銀行、富山銀行、高田信用金庫、金沢信用金庫以外の金融機関が返済期間2年以上の金利で0.09%、2.0%、2.38%(同・2.1



### お金をムダ使い

シスター2人で生まれた。このうち地元の子生劇団「星空工房」が上演したコント「写真」では、主人公の女の子がお父さんの誕生日プレゼントを買い出かけるが、途中でたい焼きを食ったり、ジュースを飲んだり、前から欲しかった熊のぬいぐるみを買ったり、お金の使い果たしてしまう。プレゼントを買えなくなった女の子は泣きながら、お母さんに「もう二度とムダ使いしません。お小遣い帳をつけます」と約束する。劇を見た子供たちにもお小遣い帳を配り、お金を大切に使うことを呼びかけた。同イベントは4日まで。

## 正々堂々と雇用創出効果

このために、そのためのコンクリート

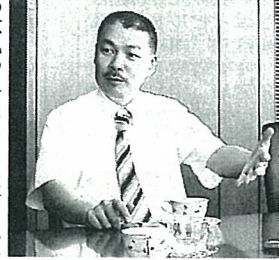
### を論ぜよ

対談②

裸の王様

市森 先生が出された本を読ませてもらった。2002年ぐらいから書かれてあって、公共事業費が削減されてきたのも丁度その頃になり、最終的に「コンクリートから人へ」の政策的に、まさに「きつくなっただけで、藤井先生は、これ10年近く前から、このようにことを書かれていたことに對して、ほとんど、われわれも知らなかった。そこに一つの問題があると思う。そういう声が、われわれ業界の人間に届き、そして、それから一般の方に届くようになったらいい。公共事業や土木は全般的にイメージが良くないから、無理かなあとも思うが、どうなんでしょう。

藤井 この本の中にも書いてあるが、今の『逆風世論』がなぜあるのか、とごつと。『沈黙の螺旋』という『沈黙の螺旋』(らせん)議論』というものがあ。或る意見が世の中で支配的になってくると、そ



藤井聡教授

意見の通じることは言いやすいが、その意見の反対は言いにくい。なる。そうならば、その意見に反対の人は沈黙していく。そして、沈黙している、ますます世論の意見は大きくなり、雪だるま式に増えていく。一方で、それに反対する人は、逆雪だるま式にますます小さくなる。それが『沈黙が沈黙を生む螺旋論』というもので、これは「裸の王様」の童話と全く同じで、みんな、王様は裸であることが知っていた。だけれども、王様は素敵な服を着ている、という声が大んだん大きくなっていくと、みんなおかし、とほ思っているが、黙ってしま、これが世論の真相であり、沈黙の螺旋論の核心にある考え方である。これを破ったのは何か。先ほどの童話でいうと「王様は裸だ」と、声高々に言った一人の人間がいたから、結局は裸だったんだ、と気づいたことになった。

市森 たしか、子どもだったね。藤井 そう。だから、中立的な人間、損得関係のない無関係な人間がツッコミを入れたことになる。ここで、重要なポイントは二つある

一つは世論というのは、不条理なことがあっても、雪だるま式に大きくなっていくものである。もう一つは、その世論を崩壊させるのは、中立な立場の人間がツッコミを入れることにある。一旦ツッコミを入れれば、後は雪崩が打つたように、ザツと広まっていくはず。『やっぱ、裸や。恥ずかしい』というように。この理論通りにいけば、この本を建設業界関係者が読んで、一般の人はなかなか読んでくれないだろうし、今はマスメディアには、何万、何億という情報が氾濫している中で、たかだか、本一冊の影響というものは、その裸の王様の時の子どもよりも、ずっと小さく、雪崩現象は起こらないかもしれないが、しかし、その声を大きく、できるだけ挙げていくという努力の果てで、雪崩が起きるんじゃないか、と思う。だから、発言にみんなが関わら、みんながその子どもの役になっていければ、可能性が広がっていくはずだ。

いじめっ子といじめられっ子

市森 結局のところ、公共事業が批判される原因の一つは、マスコミの物事を表面的に捉えた報道であると思う。マスコミの公共事業、土木に対する報道は、われわれ専門家からみれば、事実と異なることが多く、場合によって明らかに誇張表現されている。さらに

それが非難されるや、行政はまた黙らざるを得なくなる。そして黙っているをやっぱ、何か、利権をむさぼっているのではないかと、黙っているのではないかと、黙ってしまった。つまり、まあ、いじめられっ子が黙って、いじめっ子がどんどんみんな寄ってたかって、いじめるようになっていたのが真相ではないか。先ほど話した通り、現状の公共事業バッシングには原因は二つあって、われわれが黙っていたこと。もう一つは普通の人がなんの畏れや敬いもなく、国家、公共に対して、気軽にツッコミを入れるようになったことにある。昔は一般の人々は、まさか国家、公共、行政がやっていることに對して、声高々に批判することはない、大人の見識があった。そういう感覚があった。世の中うまうま回っていたのだ。現在は、そこでアンバランスが起きた。社会資本整備に知識の無い一般の人の方が声高に吠え、それをよく知る専門家は黙っている。いじめっ子といじめられっ子が、グシャグシャになっているのが、今の状況ではなからうか。

日本の現状

市森 今、民主党の政権になって、コンクリートから人へのスロガンの下、最終的には今年度、昨年度費で18.3%の公共事業費の削減が行われた。まだ1/4半期しか経過していないので、今年

北援工業が破産申請  
【富山】帝國データ、店に上ると機械据付工事の北援工業、高野434、表は3日午後地裁へ自己破産した。負債は全額約1億9000万円。見込む。

4期を業年 0 融産で澤谷事本  
建設工業新聞掲載  
平成22年8月4日付  
求人数が 合同就職面接会  
石川労働局と石川県は、来春大学等卒業予定者として35歳未満の若年者を対象とした「合同就職面接会」を3日、金沢市鞍月の石川県地産産業振